

## 岸和田工場跡地概要

所在地：大阪府岸和田市大工町（約2,600m<sup>2</sup>）

操業履歴：明治44（1911）年 操業開始（泉州瓦斯株式会社）  
昭和20（1945）年 大阪ガス株式会社に合併  
昭和25（1950）年 石炭ガス製造設備停止

位置図



## 調 査 概 要

1. 調査・対策検討期間      平成15年5月～平成15年12月

2. 概況調査

2-1. 調査数量

表土調査 (30mメッシュ区分複数地点均等混合法)	4 検体
土壌ガス調査	4 地点
地下水調査	4 地点

2-2. 調査対象物質

取扱履歴のある特定有害物質：シアン化合物、ベンゼン

原料石炭中の微量不純物      ：カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、砒素  
計 8 項目

2-3. 測定項目

- |           |  |
|-----------|--|
| (1) 表土調査  | シアン化合物、カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、砒素の7項目について、溶出量及び含有量を測定 |
| (2) 土壌ガス  | ベンゼン   |
| (3) 地下水調査 | シアン化合物、ベンゼン、カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、鉛、砒素の8項目            |

2-4. 調査結果

- (1) 表土の溶出量試験結果は、シアン化合物、カドミウム、六価クロム、セレン、砒素については、全地点で溶出量基準に適合しており、水銀、鉛については、下表のとおりであった。

表 - 1 表土溶出量試験結果 (単位：mg/L)

項目	最大値	溶出量基準	基準超過検体数
			総検体数
水銀	0.0046	0.0005 以下	1
			4
鉛	0.049	0.01 以下	2
			4

- (2) 表土の含有量試験結果は、全検体で全項目とも含有量基準に適合していた。
- (3) ベンゼンの土壌ガスの測定結果は、全地点で不検出であった。
- (4) 地下水調査結果は、全地点で全項目とも地下水基準に適合していた。

## 3. 詳細調査

概況調査で検出された水銀および鉛について、調査密度を細かくして調査を行い、さらに深度方向の調査を実施した。

## 3-1. 調査地点数および調査深度

## (1) 調査地点数

水銀：14地点

鉛：11地点

## (2) 調査深度

水銀：表土(0~50cm), 0.5m, 1m, 2m

鉛：表土(0~50cm), 1m, 2m

## 3-2. 測定項目

土壌溶出量

## 3-3. 調査結果

表 - 2 詳細調査結果

(単位: mg/L)

項目	最大値	溶出量基準	基準超過検体数
			総検体数
水銀	0.029	0.0005 以下	1 2
			5 3
鉛	0.14	0.01 以下	1 2
			2 3

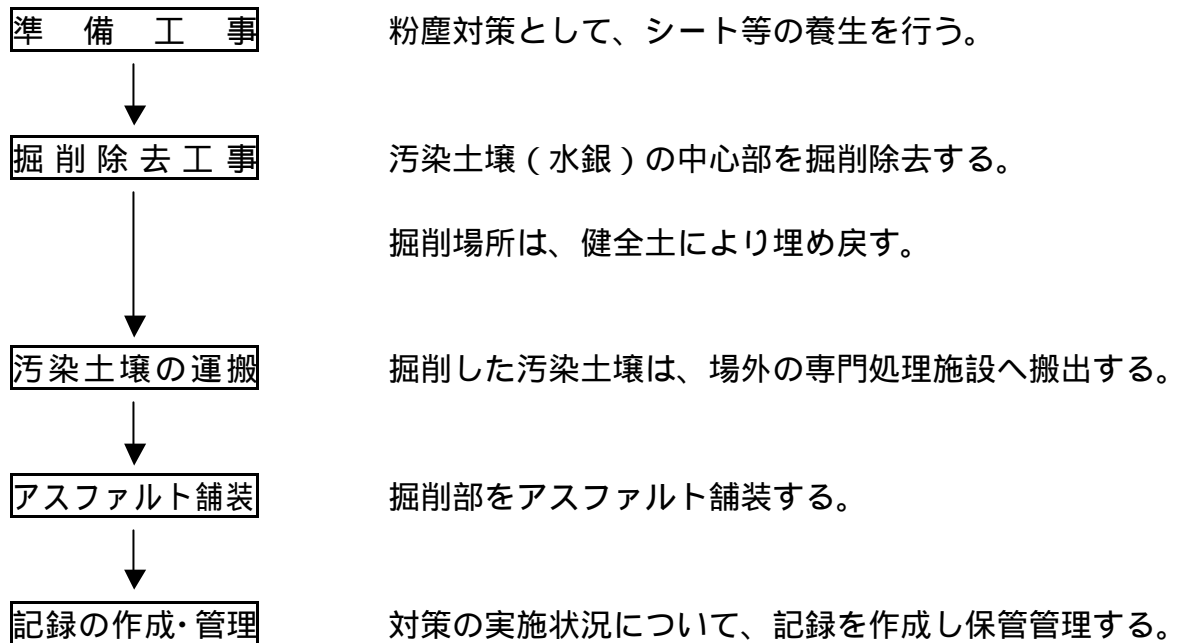
なお、アルキル水銀は、検出されなかった。

## 対策概要

### 1. 対策工事概要

- (1) 工事期間 着工後、約1カ月間の予定
- (2) 工事内容 汚染土壌の掘削除去

### 2. 対策工事方法



### 3. 周辺環境保全対策

工事に伴う周辺環境対策は、関係法令を遵守して行う。

- ・土壌の搬出搬入にあたっては、誘導員の配置・制限速度の遵守など運行安全管理を徹底する。
- ・工事に伴う粉塵対策としてシート養生、散水を行う。
- ・工事に伴う騒音、振動対策として工法・使用機械の選定等に配慮する。

以上